

# 2017年10月22日 投・開票日程の「解散総選挙」 なぜか？

「大義無き解散」の大ブーイングは徐々に鳴りを潜めてきたが、この日程には深い意味がある、らしい。某与党議員によれば安倍晋三首相がトランプ大統領から「12月以降に北朝鮮を攻撃する」と連絡をうけたからだ、という。

つまり、アメリカが北朝鮮を攻撃すれば、第2次朝鮮戦争が始まる。

北朝鮮のすぐ近くにある我が日本が影響を受けないわけではなく、アメリカの同盟国日本へ「核弾頭付きミサイル」が飛んでくることもあろう。

何せ、アメリカ軍が東シナ海・南シナ海・インド洋をカバーする「アメリカ第7艦隊」の母港は我が国日本の横須賀基地なのだ。

だから、攻撃目標となる可能性が高い。

## アメリカ軍が『正義の鉄槌』を下すことは簡単だ

アメリカ軍は世界最強の軍だ。

その世界最強の軍が日本に常時駐留している。

早くいってしまえば日本に駐留しているアメリカ軍は日本の軍隊のようなものだ。事実、日本の自衛隊は日本に駐留するアメリカ軍を防衛してやっている。

なんと、アメリカ軍の日本駐留費の75%も日本国の税金から負担しているのだから、さすがのトランプ大統領も「シ

ンゾー・アベ」とほとんど恋愛感情に近いものを感じているのだろう。遠距離恋愛よろしく毎日国際電話で「おしゃべり」を楽しんでいるらしい。

**安倍晋三首相は、実に素晴らしい「女たらし」「ジジイ転がし」「人たらし」である。**

そが、「大年増の厚化粧」の小池百合子氏とは品格が違っている。

この違いは血筋であり、家庭環境、素直な性格にありはすまいか。

政治家だって人だもの・・・、嘘偽りのないアプローチで真剣に接してくれて

いることがわかれば、同性同士でも愛情に近い『友情』を感じるのは当然だろう。

## 品のない「希望の党」はまるで「振り込め詐欺」

入党したかったら「即日、金を振り込め」と振り込め詐欺師のようなことを恥ずかし気もなくやるには「大年増の厚化粧」より仮面をかぶったほうが心理面に楽かもしれない。

「あっちの客」「こっちの客」へ秋波を送り、「八方美人」を決め込んで店の売り上げに貢献するチーママのうち厚化粧だけでも通用したが、お店のオーナーがない現状では徹底的に「我が儘」を言って、ある程度のところで矛を納めるのが得策。賞味期限が1～2か月の「小池や」商品は、すぐにボロが出る。

お忘れだろうが小池百合子氏は東京都知事である。だが都知事としてこの1年4か月、何か誇れる仕事をしたのだろうか？



何もしていない。

そのクセに、小池百合子都知事は今年の2月には特許庁に『希望の党』の商標を出願。9月1日に登録された。チーママが自前の「パーティー・クラブ」を開いたわけだが、お客さんと資金がない。そこで、ほかのお店からお客と資金を引き抜くことを画策。一度は天下を取った「民進や」のハンサムな若旦那（前原誠司氏）と密会するようになる。逢瀬を重ねたというべきか。おじさんたちのアイドル百合子ママと政界のジャニーズ前原誠司氏は密会を重ねる。

言い寄る「民進党の若旦那」。思わせぶりに対応する百合子ママ。言を左右にたぶらかしたその手練手管は見上げたもの。「クラブ」や「パーティー」の遊び方を知らない「若ボン」は「大年増のテクニク」に嵌って、ひとたまりもなく昇天。

「民進や」では兄弟ケンカが勃発。弟の枝野幸男氏は兄一人を残して「立憲民主党」を創って出て行ってしまった。「民進や」の若旦那（前原誠司氏）は、誰もいなくなっ



希望の党 小池百合子代表

たお店（おたな）で独り残留とは可哀そうな限りだ。

お話を元に戻そう。

アメリカ軍が北朝鮮を攻撃し、金正恩体制亡き後の北朝鮮をどう取り扱うか？戦後処理だが、それ以前に北朝鮮の「弾道ミサイル」で日本国民が被害を受けるかも知れない。自衛隊の基地、原子力発電所なども当然攻撃目標となるだろう。

これだけ「重苦しい国家の危機を乗り越える」には『長期安定政権の安倍晋三内閣総理大臣でなければ対応できない』ことも出てくる、だろう。

だから、日本国にとって今回の選挙は絶対に負けることのできない選挙なのだ。

政界サラブレッドの安倍晋三首相（岸信介）、麻生太郎（吉田 茂）血縁コンビで日本を守ってもらう以外に道はない。

## スパイの天国 日本

日本は知る人ぞ知るスパイ天国。北朝鮮の工作人員も大量に潜伏している。

しかし「お花畑の住人」は実態を知らないし、あまりに日本人に溶け込んでいるので、北朝鮮人とは気がつかない。

ご近所の良く知る人が、ある日突然にテロリストに変わる。

電気が止まり、通信が途絶え、水が止まる。

街のそこかしこから火の手が上がり、交通はマヒし、けが人を救う手立てが消



岸 信介

第56-57代内閣理大臣  
在任期間

1957年2月25日-

1960年7月19日

1960年1月に日米安全保障条約締結

安倍晋三首相の母方の祖父



吉田 茂

第48-51代内閣理大臣  
在任期間

1948年10月15日-

1954年12月10日

1951年9月にサンフランシスコ平和条約を締結

麻生太郎の母方の祖父



麻生 太郎

第92代内閣理大臣  
在任期間

2008年9月24日-

2009年9月16日

安倍内閣において現在は財務大臣

↑ 親戚関係 ↓

えうせる。

文化的で快適な生活をしている現代人はコンクリートのジャングルに咲くひ弱な花だ。

狂暴なテロリストに対抗すべき知識も体力もない。

しかも危機管理のノウハウや情報が不足している。

まずは「サバイバルの方法」「戦闘術」次に「応急処置」。

自分を助けて、同胞を助ける強い絆。

そのための「スキル」「知識」「熱い心」を学校、職場、地域のグループ単位で実行し危機を管理していくべきだ。

安倍晋三首相が「解散総選挙」を決意したのは有事となったときに日本国民が右往左往するのを防ぎたい。危機に際し、日本国民が逃げまどい、漂流するような状況は絶対に避けなければならない。しかも、残された時間がないから「エイや！」と『解散総選挙』に打って出たのだ。

10月22日の衆院選の結果が我が国「日本」を大きく左右するかも知れないことを心して投票したい。

在韓アメリカ人が逃げ出し始めたらいよいよ危ない。



「国難突破解散だ」

9月25日、安倍晋三首相は臨時国会冒頭で衆議院の解散・総選挙を表明した。